

●環境に配慮した栽培の取り組み

食品バイオマス堆肥使用の取り組み

「彩の国資源循環工場に選定された、
(株)アイルクリーンテックで出来た食品バイオマス堆肥」



散布の様子

● 19年産・・・ 3a ● 20年産・・・ 8ha ● 21年産・・・ 40ha ● 25年産・・・ 70ha

現在 年間 約 28トン 食品バイオマス堆肥を散布

●生産現場からの食育活動

小学生との交流



平成17年より横浜の小学校5年生が田植え体験学習、稲刈り体験学習。
毎年、農業体験や農業の話、食育から環境保全や食品バイオマスまで説明。
以降、現在も毎年田植え体験と稲刈り体験学習を行っています。



加工の取り組み(二次産業)

- 年末定番のこだわり農家餅
生産部が担当、農閑期の作業として製造
- 農家のお母さんの手作り加工品シリーズ
自家栽培のこしひかりと若草もち米を使用し、赤飯やおこわ、ちらしご飯などご飯ものから、草団子・草餅・大福などの和菓子まで、さらに自家栽培の小麦を使って小麦まんじゅうなど様々な商品を製造



販売の取り組み(三次産業)

●店頭精米の販売方法

生産者の顔と名前で玄米1kgより量り売り、
お米の酸化期限の二週間を徹底する店頭精
米システム



店頭精米機と販売手順



生産者ポップ



●埼玉コープ『エコ循環米』

- 19年産
彩のかがやきを店舗にて特別販売
- 20年産
彩のかがやきを『エコ循環米』として
販売開始
- 21年産
『エコ循環米』販売。消費者と交流
- 22年産
酷暑の影響を受けるも埼玉コープ協
力により販売。消費者と交流
- 26年産～
オリジナル袋(右記)にて『エコ循環
米』販売



●サイゼリヤの契約圃場栽培

- F1品種多収穫米みつひかり2003を平成22年産より栽培。25年産よりイタリアンレストラン『サイゼリヤ』と圃場面積契約によるみつひかり2003の契約栽培を開始。H27年は25haを契約栽培。





互 泰行(たがい やすゆき)

【プロフィール】

有限会社 中井農産センター 副社長
のりす株式会社 代表取締役
日本農業法人協会 土地利用型委員会
埼玉県農業法人協会会長・埼玉県地域指導農家
吉川市観光協会理事・吉川市逸品朝市実行委員長
H A C C P 責任者講習取得・調理師免許
「ボランティア・プランナー」農林水産省より任命
「地産地消の仕事人」農林水産省より任命
「埼玉県食の安全委員」埼玉県知事より任命

弊社は40年程前に父が農業生産法人として創立した会社です。先代は、安全な農産物を消費者へという志向が強く、昔から有機栽培を手掛けておりました。

私は25年前に東京で調理師からのリターン組として入社してからフードマイレージを推進してきました。地元の農産物及び産物加工品をより多くの地域住民の方々の認知してもらおうと、近郊の商店とのタイアップによって地産地消を進めて参りました。

今後は、地域での農業者と商工のバイパス役となり、連携をより一層強化して「農商工連携の地産地消」で活力のある町作りを目指して行きたいと思っています。